

こども
子供のインターネットバイブル
あんない
案内いたします

ひと
なみだの人、
エレミヤ



ぶん
文: Edward Hughes
え
絵: Jonathan Hay

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick
しゅつばんしゃ
出版社: Mary-Anne S.

60話の第28話

www.M1914.org

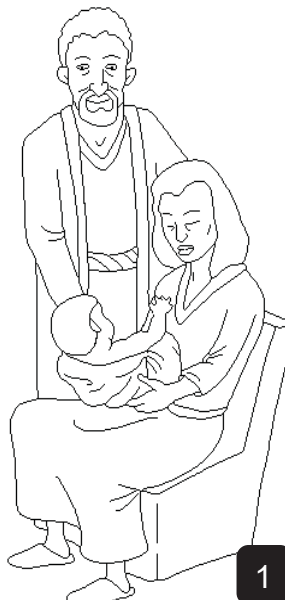
Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

まよお たにん う けぞ はなし また まよお
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

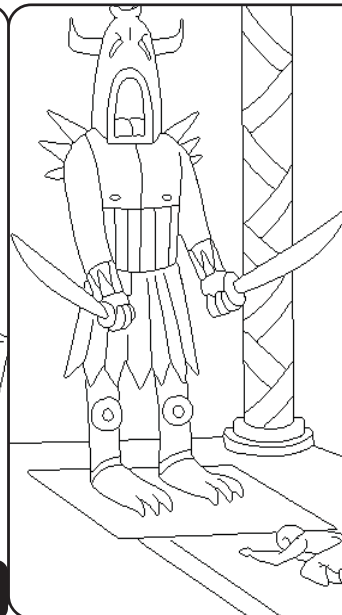
日本語

Japanese

エレミヤは、ユダの王国で生まれました。
かれの家ぞくはみんな、
心から神さまを信じて生きていました。
お父さんヒルキヤは、
祭司です。かれの家ぞくは、
エルサレムからそんなに遠くない町アナ
ソスというところに、住んでいました。
エレミヤのお父さんとお母さんはね、
かれもお父さんのように、
きっと祭司になるだろうと思っていたのです。
ところが、
神さまはエレミヤにもっとほかのことを、
計画されていたのですよ。



1



ちょうどエレミヤが生
まれたころ、神さまの民は、
神さまのことばなど聞かないで、
好きかってに生活していました。
王さまから、身分のひくい
人たちまで、ほとんどの人たちが、
うその神さまを礼拝していたのです。
しかも、神さまがいらっしや
る聖なる宮殿でね。

2

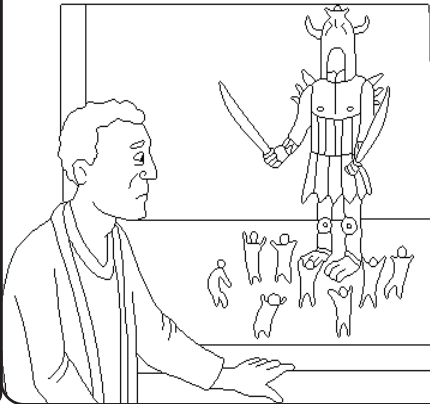
エレミヤが、
まだわか
者だったころ、
神さまはこのよう
に話されました。
「エレミヤよ、
わたしは、おまえの
ことを生まれる前から
知っているんだよ。」
そして、
また言われました。
「そのときから、
わたしはおまえのために、ちゃんと計画をたてているんだ。
わたしのことを、人々に告げるようにね。」



3

エレミヤは、神さまからの声を聞いてびっくり！とてもこわかったようです。
「ああ、主なる神さま！」エレミヤは、叫びました。「わたしには、
人に話すことなんかできません。神さま、わたしはまだ子どもなのです。」

でも、じつは、エレミヤはもう子どもではありません。



そのとき、
もうすでに20さいでしたか
らね。それでもエレミヤは、
神さまのことを人々に話すなん
てとんでもないと思いました。
どうしてって、
かれのまわりの人々は、
ほんとうに悪い人たちで、
ひどいことばかりし
ているのですから。

4

「エレミヤ、おそれるな！」神さまは、
きっぱりとこう言われました。

「さあ、
エレミヤよ、
わたしが行きなさい
というところは、どこでも行くのだ！
わたしが、話しなさいということは、
なんでも言うのだ！



5

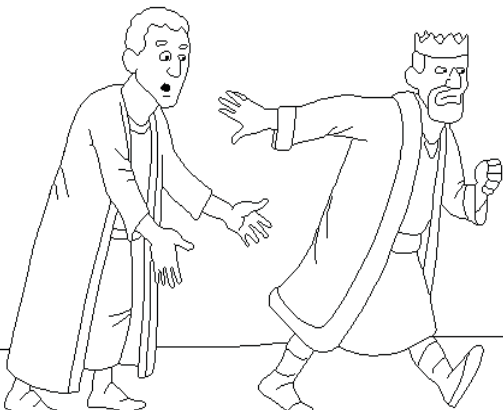
わたしが、いつもいっしょにいるのだから。
わたしが、おまえをつかわそう。」あれっ、

それから神さまは、
エレミヤに何かとくべつな
ことをなさいましたよ。そう、
神さまはエレミヤの口びるに、
そっとふれられたのです。



6

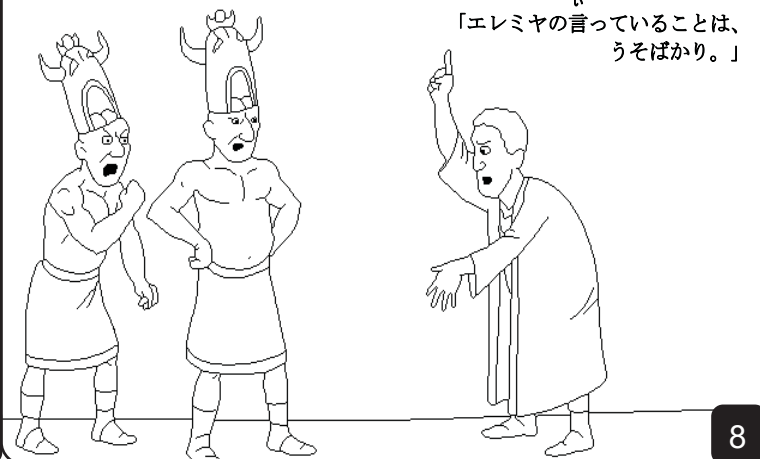
神さまは、エレミヤに力、ゆう気、そして知恵を与えられました。すると、
どうでしょう。エレミヤはたくさんの人のまえで、大きな声で話しはじめたでは
ありませんか。神さまが、愛していらっしゃること、そして助けたいを思ってい
らっしゃることを みんなに思い出してもらおうとして、いっしょうけんめい話
しました。でも、
だあれもエレミヤ
の話なんか聞こ
うとしません。
王さまでさえもね。



7

神さまにつかえる祭司でさえ、おこっつこう言いました。

「エレミヤ、もうやめなさい、神さまのことを話すのは。」また、
にせのよげん者たちも言いました。
「エレミヤの言っていることは、
うそばかり。」



8

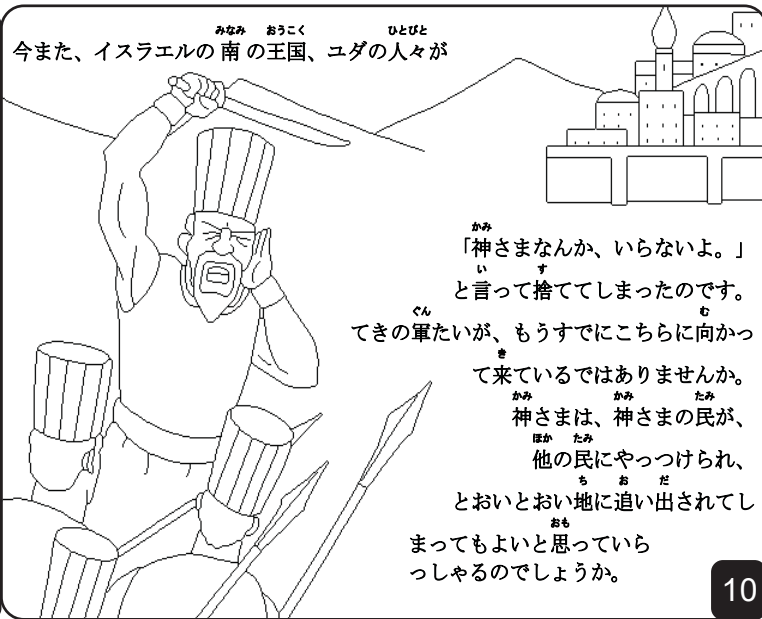
エレミヤは、100年ぐらいまえにあったできごとを、人々に思い出させようと思いましたよ。それは、イスラエルの北の王国が、「神さまなんか、いらないよ。」と捨ててしまったときのことです。そのとき、かれらのときアッシリア軍の人々が、イスラエルの王国に攻めて来て、そこに住んでいた人々はみんな、とおいとおい地に追いやられてしまったのです。



9

今また、イスラエルの南の王国、ユダの人々が

「神さまなんか、いらないよ。」
と言って捨ててしまったのです。
てきの軍たいが、もうすでにこちらに向かっ
て来ているではありませんか。
神さまは、神さまの民が、
他の民にやつつけられ、
とおいとおい地に追い出されてし
まってもよいと思ってい
らっしゃるのでしょうか。



10

人々は、心からぐう像を信じていました。みなさん、ぐう像は、
てきの軍たいから人々を、助けることができると思いますか。
いいえ！決してできません。神さまだけが、
助けることができるのですね。



11

でも、ぐう像を信じる人々は、
神さまのことを話すエレミヤに、すっかりはらをたてました。
じつはね、みんなは「エレミヤをころしてしまおう！」って、
計画していたのですよ。エレミヤは、だいじょうぶでしょうか？
もちろんです。神さまが、しもべエレミヤをしっ
かりと守ってくださっていますからね。



12

どうとう神さまは、エレミヤがたい
へんショックをうけるようなことを、
い
言われました。「エレミヤ、
もうイスラエルの人々のために、
いの
祈らなくてよい。かれらが、
どうか助けてくださいと、
わたしに泣いたのんだとしても、
いまのところ聞くつもりはない。」

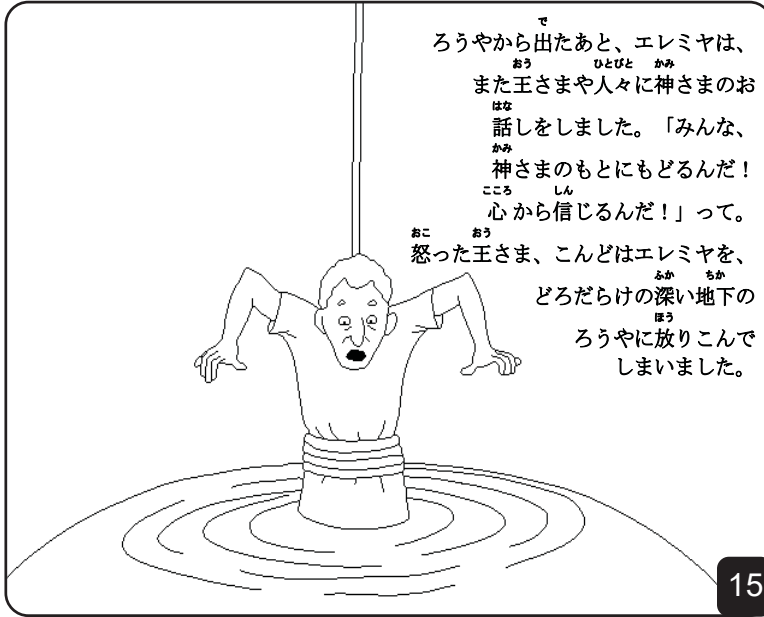


13

そこでエレミヤは、
王さまに知らせました。
「あなたの国は、
バビロンの軍とのたたかいに、
ま
負けてしまうだろう。」
とね。それを聞いた王さま、
すっかり怒りました。「エレミヤを、
すぐろうやに、ぶちこんでしまえ！」
でも、ろうやの中でもエレミヤは、
みんなに神さまのことを話しつつけ、
神さまを心から信じつつけました。



14



ろうやから出たあと、エレミヤは、
また王さまや人々に神さまのお
話しをしました。「みんな、
神さまのもとにもどるんだ！
心から信じるんだ！」って。
怒った王さま、こんどはエレミヤを、
どろだらけの深い地下の
ろうやに放りこんで
しまいました。

15



けれどもその後、神さまは、王さまの心を変えられたのです。
神さまを信じるようになった王さまは、みんなにわからないように、
そっとエレミヤをろうやから救い出しました。

16



そして、エレミヤにたずねましたよ。「神さまは、王であるわたしに、
何をするように言われているのか。」エレミヤの答えはこうでした。
「とらわれ人となるのだ。そうすれば、あなたは生きてゆけるだろうと神さまは
言われている。」

17



バビロンの軍たいは、
エルサレムとユダのほとんどの地を、
自分たちの物としました。かれらは、
かべやたて物すべてをこわし、何もかも焼
きつくしてしまったのです。
神さまは、言われました。

「わたしの民は、
70年のあいだ、

とらわれ人となるだろう。
そしてその後、わたしは、
かれらをやくそくの地へつ
れもどすことにしよう。」

18

なみだの人、エレミヤ

神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

エレミヤ書

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっしやいます。
神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをととも愛されたので、み子イエスをこの世におくってくださいまし
た。そして、イエスが十字架で亡くなられることによって、私たちの罪をとってくだ
さったのです。イエスは、よみがえられ天国へ
もどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。
愛する神さま、私は、イエスが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また
生きていらっしやることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてくださ
い。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あな
たといつしよにいることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、
たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3:16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！